

誰でも簡単に

プロさながらの高度な
脆弱性診断を



セキュリティ対策の必要性は増している

要求されるセキュリティレベルがあがり、高頻度・高精度な脆弱性診断が必要に

脆弱性診断を内製化している

セキュリティ人材が足りない
ツール習得の時間がない

脆弱性診断を外部委託している

リリースタイミングで診断できない
調整に割く時間とコストがない
診断状況が把握できない

これまで脆弱性診断を実施したことがない

どんな脆弱性診断を実施すべきかわからない
どのようなツールを導入すべきかわからない

 **AeyeScan** (エーアイスキャン) により
セキュリティ対策にかかる **コストを削減!**

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※

有償契約
300社以上

※ 富士キメラ総研調べ「2024 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール〈クラウド〉2023年度実績
※ ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2023年度実績）

プロが認める品質・精度

セキュリティベンダーやSIerでも
顧客向けサービスとして活用

×

ブラウザ上での直感的な操作

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも
安定した運用が可能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ



金融



メディア



人材・教育



エンタメ



Leverages



SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



日本企業からの評価が高い製品「Top100」に選出

「ITreview Best Software in Japan 2025 (※1)」にて、1万3000製品の中からAeyeScanが表彰！



第81位



4期連続

ユーザーレビューなどをもとにした第三者評価
満足度・認知度がともに優れたサービスとして認定

ユーザーレビュー(お客様の生のお声)はこちらから

<https://www.itreview.jp/products/aeyescan/reviews>

もはや脆弱性診断ツールのデファクトスタンダード

AeyeScanを導入したおかげで定期診断の義務化に一役買ってくれた

これまではコストとの兼ね合いから何年も診断出来ていなかったWebアプリがいくつもある中でAeyeScanを導入したことで気兼ねなく診断できる環境が整った。一度使ってしまうと、他ツールには戻れないと思えるほどの信頼性の高さを感じています。



業種：その他サービス
職種：社内情報システム
従業員：1000人以上

全体的な業務効率アップに！

検知された脆弱性に対して、脆弱性診断を担当する社員だけではなく、それ以外の社員にもわかりやすい文章で結果を出してくれるので、説明の時間も大幅に省けていると思います。

また、自動診断で診断してくれる項目が多いので手動で診断を行わなければならない場所も少なく、他の業務の効率アップにも貢献しています。



業種：旅行・レジャー
職種：社内情報システム
従業員：1000人以上

※1 2025年5月に発表された、ビジネス向けIT製品・クラウドサービスのレビュープラットフォーム「ITreview」の企画（詳細：<https://www.itreview.jp/best-software/2025>）

ITreviewに集まった1年間のユーザーレビュー評価をもとに、いま、日本企業からの評価が高くビジネスの最前線で注目を浴びているSaaS・ソフトウェアやITサービスのTop100が発表されています。

AeyeScanひとつで、デジタル領域のセキュリティをトータルサポート

公開Webサイトの検出

Webサイト全体の把握

脆弱性診断によるリスク評価

把握済みの
Webサイト



自動巡回・診断

未把握の
Webサイト



発見

登録

自動巡回・診断

 **AeyeScan**



Web-ASM



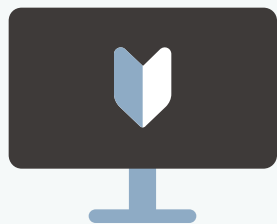
自動巡回



脆弱性診断

| 01 選ばれる理由

| AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート

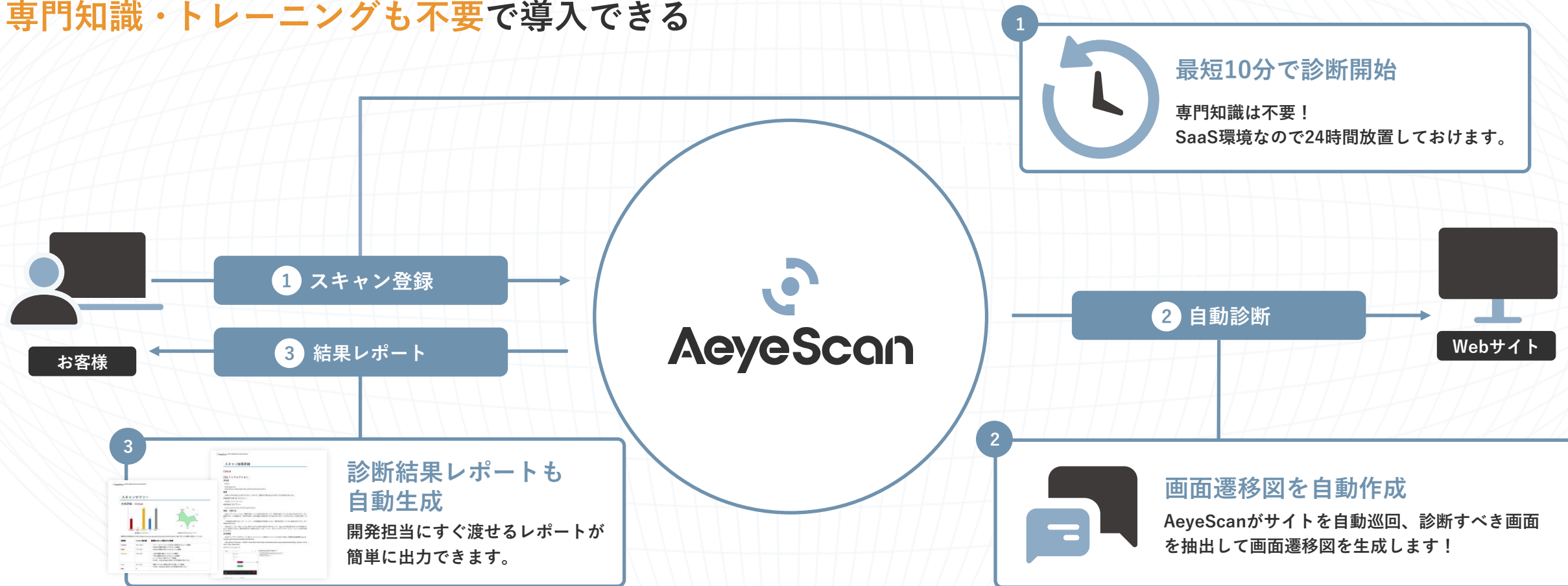


各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

ポイント01 学習コストゼロ! 最短10分で利用可能

AeyeScanのポイント

専門知識・トレーニングも不要で導入できる



ポイント02 診断範囲が分かりやすい

AeyeScanのポイント

巡回時に、**自動で画面遷移図**を生成。**診断範囲が可視化**され分かりやすい

参照：AeyeScan コントロールパネル

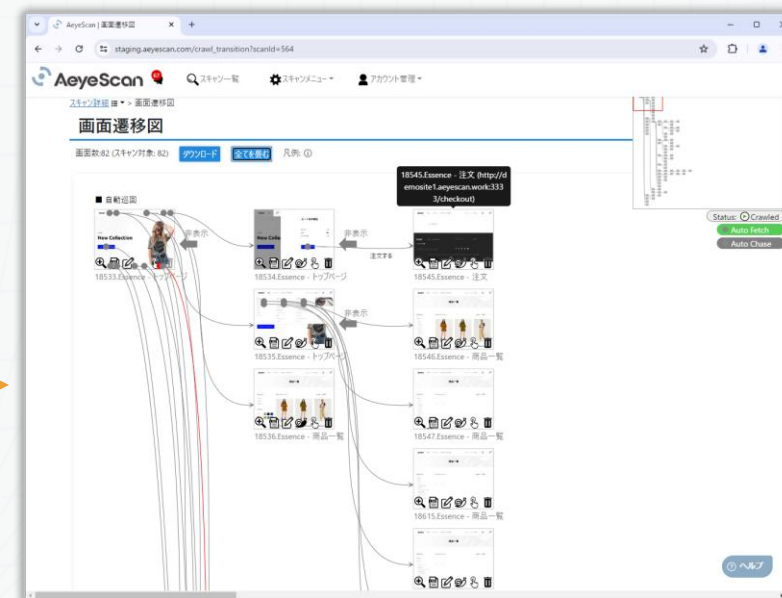
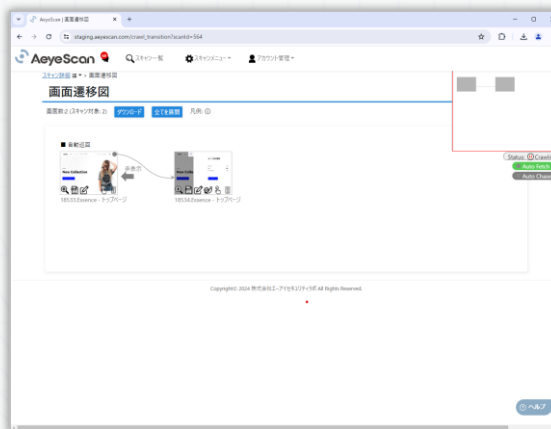
課題

遷移が正しくできていないと、
どこからリンクされている画面か分からなかった

AeyeScanなら、
自動作成された画面遷移図でエラーも瞬時に把握！

！ ココがポイント

存在しないページなどの404エラーも
すぐに発見できる



ポイント03 自動巡回のカバー範囲が広い

AeyeScanのポイント

AI活用のレベルが高いため、自動巡回が高精度で範囲が広い

例：AIによるフォーム入力値の判断処理

課題

フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、入力エラーとなり遷移できず診断が進まない…

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

！ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！

例えば

-  クレジットカード
-  画像アップロード

フォームを自動認識しラベル化

登録フォーム

姓名
(カタカナ)

郵便番号

住所

電話番号

メールアドレス

確認する →

自動認識したラベル(赤枠)に応じ
適切な入力値を設定

姓名
姓名(カタカナ)
姓名(ひらがな)
姓
名
姓(カタカナ)
名(カタカナ)
姓(ひらがな)
名(ひらがな)

正常遷移

適切な値を入力

登録フォーム

姓名
(カタカナ) ジュンカイ タロウ

郵便番号 000-0000

住所 東京都 江東区...

電話番号 03-0000-0000

メールアドレス taro@example.com

確定 →

ポイント04 セキュリティを熟知した開発チーム

AeyeScanのポイント

脆弱性の最新状況にすばやく対応できる

未知の脆弱性を発見できる能力を有したエンジニア陣が、常にアップデートを実施。
変化の激しいセキュリティの最新状況に対応し続けています。

弊社でApache Struts 2の脆弱性を発見・報告

概要

Apache Struts 2において、 任意のコードが実行可能な脆弱性(S2-061)

The Apache Software Foundationが提供するApache Struts 2には、不適切な入力確認(CWE-20)に起因する任意のコードが実行可能な脆弱性が存在します。

この脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警告パートナーシップに基づき下記の方がIPAに報告し、JPCERT/CCが開発者との調整を行いました。

報告者：株式会社エーアイセキュリティラボ 安西真人 氏

問題

“Apache Struts 2”には、任意のコード実行の脆弱性が存在します。



攻撃者

① 攻撃者が“Apache Struts 2”に悪意のあるリクエストを送信



悪意のあるリクエスト

任意のコードを実行されてしまう ②



“Apache Struts 2”を使用したWebアプリケーションが動作しているサーバ

弊社でDjangoの脆弱性を発見・報告

概要

DjangoのExtract関数およびTrunc関数 におけるSQLインジェクションの脆弱性

The Apache Software Foundationが提供するDjangoは、Webアプリケーションフレームワークです。Djangoの日付操作のExtract関数およびTrunc関数には、SQLインジェクション(CWE-89)の脆弱性が存在します。

この脆弱性情報は、次の方が製品開発者に直接報告し、製品開発者との調整を経て、製品利用者への周知を目的にJVNでの公表に至りました。

報告者：株式会社エーアイセキュリティラボ 吉開拓人 氏

問題

“Django”のExtract関数およびTrunc関数には、SQLインジェクションの脆弱性が存在します。



攻撃者

① 攻撃者が“Django”を利用して構築されたWebサイトに、
悪意のあるリクエストを送信



悪意のあるリクエスト

データが改ざんされたり、消去されたりする ②



“Django”を利用して構築されたWebサイト

ポイント05 業界標準の幅広い脆弱性に対応

AeyeScanのポイント

各種セキュリティガイドラインの**自動化可能な項目**に対応



OWASP TOP10

日本語版PDFは[こちら](#)



OWASP アプリケーション
セキュリティ検証標準

[OWASP github](#)



IPA 安全なWebサイトの作り方

PDFは[こちら](#)

！ココがポイント

- 経済産業省が策定した「情報セキュリティサービス基準」に適合している脆弱性診断サービスとして、AeyeScanが「情報セキュリティサービス台帳」に登録
- 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）2021年度 セキュリティ製品の有効性検証において、有識者会議による審査の結果、AeyeScanが選定

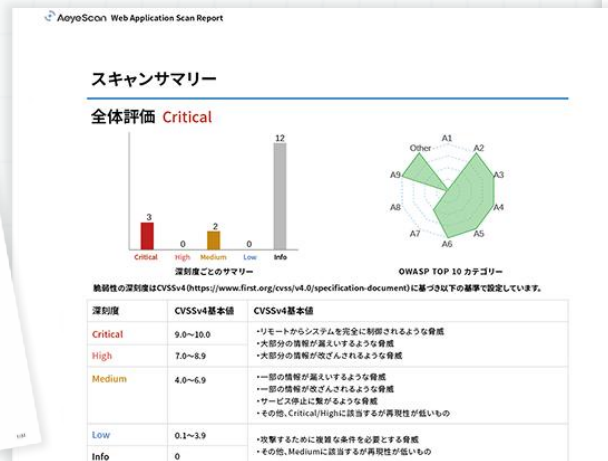


023-0026-20

ポイント06 充実のレポートを様々な形式で出力可能

AeyeScanのポイント

エンジニアに向けた脆弱性の説明だけでなく、リスク一覧や結果サマリなど、報告シーンに合わせて使える充実のレポートが様々な形式で出力できる



スキャン結果詳細

Critical

SQLインジェクション

深刻度

Critical

CVSS Score: 9.3

CVSS Vector: CVSS4.0(AU:N)(AC:L)(AT:N)(PR:N)(UI:N)(VC:H)(V:N)(VA:N)(SC:N)(SN:N)(SA:N)

概要

危険な文字列をSQL文に挿入できます。そのため、攻撃者が任意のSQL文を実行できる危険性があります。

OWASP TOP 10 カテゴリー

A1:2017-インジェクション

ASVS4.0 カテゴリー

5.1.2, 5.1.3, 5.1.4, 5.3.1, 5.3.4, 5.3.5, 13.2.2, 13.3.1

解説・対策方法

SQLインジェクションとは、攻撃者が精工した入力値を送信することで、開発者の想定していないSQL文を実行できてしまう脆弱性です。この脆弱性は、利用者の送信した値が適切に検証されずSQL文の一部として利用されることが原因で発生します。この脆弱性を悪用することで、データベースの情報漏えいや情報改ざんなど、開発者の想定していない処理を実行されてしまう危険性があります。

対策方法としては、想定していない値が入力された場合に処理を中断することや、SQL文で特殊な意味を持つ文字を無害化することが挙げられます。後者を実装する一般的な方法としては、パラメータ化クエリやプリparedステートメントの利用が挙げられます。

参考情報

安全なウェブサイトの作り方 - 11 SQLインジェクション | 情報セキュリティ | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構 (<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/sql.html>)
SQL Injection Prevention - OWASP Cheat Sheet Series (https://cheatsheetseries.owasp.org/cheatsheets/SQL_Injection_Prevention_Cheat_Sheet.html)

スクリーンショット



様々な形式でカンタンに
自動生成ができる！

！ ココがポイント

担当者のレポート作成業務がなくなるだけでなく、経営報告や開発部門にそのまま渡せる内容が網羅されているため、担当者の大幅な業務効率化を実現できます。

| 02 充実した機能

生成AIの活用による高度な自動化を実現

オプション機能

1 診断設定がさらにカンタンに

- ・フリーフォーマットでの指示



特許 第7320211号

2 巡回がより柔軟に進化

- ・多言語対応
- ・フリーフォーマットでの指示
- ・画面の自動類似判定



特許 第7348698号

4 高度なレポート出力も可能に

- ・診断結果を元に総評を生成



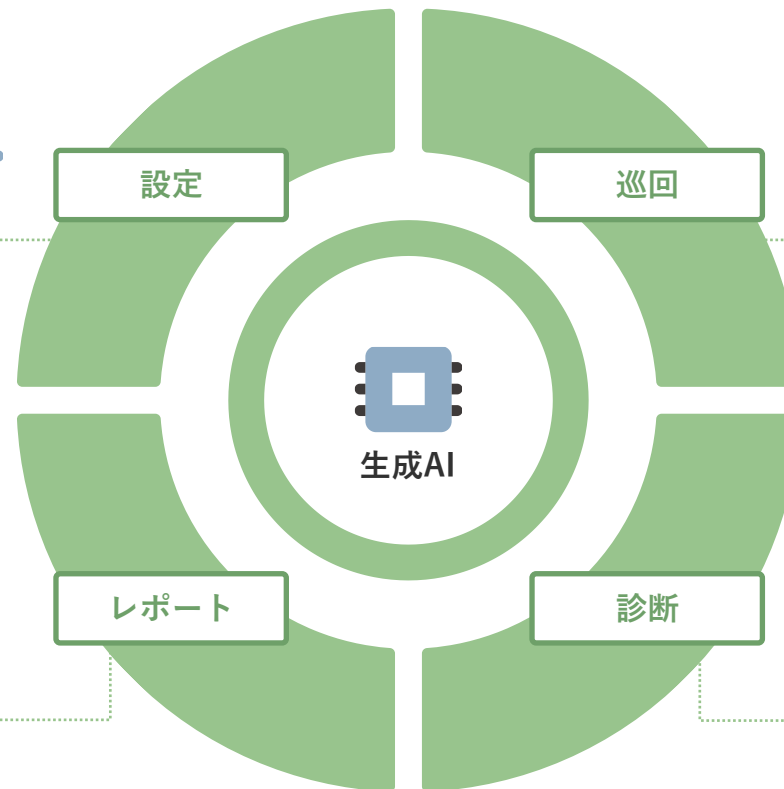
特許 第7320211号

3 手動で診断していた項目にも対応

- ・パラメータの用途を推測
- ・セッションIDの規則性を解析



特許 第7344614号



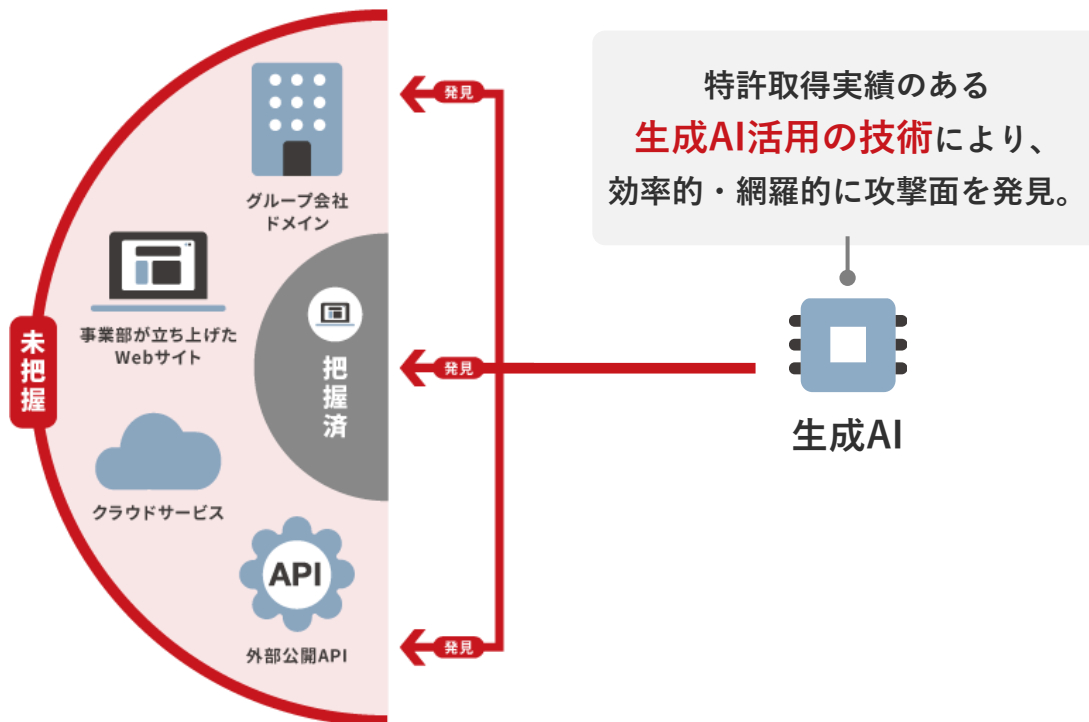
生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現

オプション機能

Web-ASMとは？

未把握な攻撃面の継続的な発見・リスク評価※

※リスク評価：AeyeScanのスク্যানによる



Web-ASMの実施ステップ

1
攻撃面の
発見



Web-ASM機能

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2
攻撃面の
情報収集



自動巡回

未把握のドメインを
巡回対象に追加

3
攻撃面の
リスク評価



脆弱性診断

管理対象の全ドメインに
脆弱性診断を実施

AeyeScan ひとつで、

より網羅的な脆弱性診断とリスクマネジメントが可能に！

さらなる脆弱性対策強化とセキュリティガバナンスの実現を支援する マネジメントプラットフォーム「AeyeCopilot」

エーアイセキュリティラボが提供するトータルソリューション

高度なAI活用により
脆弱性対策の内製化を成功へ導く

AeyeScan



部門や役割、業務の違いを超えて
情報・コミュニケーションをつなぐ

AeyeCopilot

1

情報収集

診断対象となる
母数の把握

2

計画策定

診断要否と
優先順位の判断

3

実行

脆弱性診断と
問題点の修正

4

管理・運用

実行管理と
運用支援

5

最適化

現状を可視化し
意思決定を加速

セキュリティマネジメントプラットフォーム「AeyeCopilot」とは？

オプション

部門や役割、業務の違いを超えて「情報・コミュニケーション」をつなぐことで、
リスク・対策進捗の管理や、セキュリティ対策の最適化に向けた意思決定をサポート

組織をまたぐコミュニケーションの難しさに起因する課題

経営層（CTO・CISO）

セキュリティ対策の最適化＝リスクマネジメント
に必要な情報が**把握できていない**

情報システム部門／セキュリティ部門

個別案件や急なインシデント対応に追われ、
全体像の把握や情報収集まで**手が回らない**

事業部門／開発部門

コスト・納期を守ることが最優先となっており、
セキュリティ対策は**後回し or 何も出来ていない**

AeyeCopilotの導入で、情報の集約・可視化・管理を手間なく実現！

全社の情報セキュリティリスクの管理と、
関連施策の投資判断ができる

セキュリティ関連情報を集約したうえで、
先手を打って対策検討・実行支援ができる

全社ポリシー・ガバナンスに準拠しつつ
セキュアなサービス開発・提供ができる

| 03 導入事例

導入事例紹介

エイチ・アイ・エス 様



企業名 株式会社エイチ・アイ・エス

事業内容 総合旅行会社

従業員数 10,849人 (2023年6月時点)

課題

セキュリティの内製化が困難。
診断の外注コストを削減したい

具体的な課題

- 1 社内からの診断依頼が増え続けていた
- 2 診断対象が多く外部委託せざるを得ない
- 3 外注による診断コスト増

内製・外製含め100を超えるWebアプリケーションがあり、内部の体制だけでは全ての診断実施に対応できず、一部を外部に委託。コスト削減と体制整備が課題だった。

導入

情報処理推進機構（IPA）の検証結果と
「7割以上自動化」という点が決め手

導入の背景

- 1 手動の診断では対応が追いつかず自動化を検討していた
- 2 自動化できても性能が落ちない製品を探していた

手動作業を伴う診断では対応が困難になり、診断の自動化を検討。AeyeScanは、IPAの検証結果が高評価だったことと、「7割以上の自動化が可能」という点が決め手で導入。

効果

診断・レポート作成工数を大幅に削減。
さらなる内製化比率の向上を目指す

具体的な効果

- 1 診断の大部分を自動化し工数を削減
- 2 レポート機能により大幅に時間を短縮
- 3 リリース前に診断と脆弱性改修が完了

「脆弱性が発覚しても、リリースまでに修正が間に合わない」という悩みも解消され、脆弱性を潰してからアプリをリリースできるように。

導入事例紹介

マネーフォワード様



企業名 株式会社マネーフォワード

事業内容 PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

従業員数 2,400人 (2024年5月末日現在)

課題

事業が拡大しプロダクトが増えるにつれ、脆弱性診断の間隔が空いてしまうことが懸念材料だった

具体的な課題

- 1 外注だとナレッジが蓄積されない
- 2 外注だと画面数に応じた料金体系で網羅的な診断を受けづらい
- 3 開発が遅れた場合、ベンダーとのスケジュール調整が困難

新機能の追加や大規模な改修の際には脆弱性診断を実施していたが、それ以外はプロダクト側の判断に委ねていた。小さな改修のたびに診断を外注するのではなく、内部で迅速に診断する選択肢も持ちたかった。

導入

診断ツールを導入し
継続できなかった経験から、
使いやすさを重視

導入の背景

- 1 自動巡回のカバー率が高く、主要な脆弱性を確実に検出できる
- 2 グループ会社のプロダクトも診断できるライセンス体系
- 3 API診断が可能

外国籍エンジニアも多く在籍するため、英語にも対応していること、Slackをはじめとする外部サービスとの連携性も要件だった。複数のツールの比較検討を進め、いくつかのプロダクトを対象に検証を実施した上で選定。

効果

約60プロダクトに診断を実施できた
今後、最低年1回の診断を計画

具体的な効果

- 1 画面遷移図により、CISO室がプロダクトの画面を把握できるように
- 2 開発者のセキュリティ意識が高まった
- 3 グループ統一のセキュリティスタンダード適用にも活用予定

ほぼすべてのサービスを内製で開発する中、「セキュリティスペシャリストの活動をAeyeScanがサポートしてくれている」とCISOも評価。セキュリティエンジニア以外に、QAチームでも使用を開始している。

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



| 会社概要

AeyeSecurityLab

セキュリティに
「あらたな答え」を提供し続ける
プロ集団

商号	株式会社 エーアイセキュリティラボ		
役員	代表取締役社長	青木 歩	
	取締役副社長	安西 真人	
	取締役	杉山 俊春	角田 茜
	執行役員 CTO	浅井 健	
	執行役員	関根 鉄平	田中 大介
事業内容	情報セキュリティ関連事業（調査・コンサルティング） クラウド型Web診断サービス「AeyeScan」提供		
設立	2019年4月		
拠点	東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork内		
資本金	1億円		
従業員数	43名		
Webサイト	https://www.aeyesec.jp/		
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） ISMSクラウドセキュリティ認証（ISO27017） 情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト		



IS 752963 /
ISO 27001

CLOUD 790050 /
ISO 27017 023-0026-20



AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。